

施策評価シート(平成28年度評価実施)	担当部課名	市民福祉部 健康推進課	関連部課名	
---------------------	-------	----------------	-------	--

基本目標	笑顔で安心して暮らせるまちづくり【健康・福祉】
------	-------------------------

施策名	健康づくり
-----	-------

生涯を通じてすべての市民が健康で幸せに過ごし、健康寿命を延伸するため、生活習慣病や感染症の予防、食事・運動・心の健康などライフステージに合わせた各分野の健康づくりの推進、子育て支援や母子保健の充実に加えて、地域で健康を支え合う環境を整えるため、関係機関や地域が一緒になり、市全体で健康づくりを推進します。

施策が目指す蒲郡市の将来の姿

- 市民一人ひとりが自己の健康を意識し、生活習慣病予防や個人でできる健康づくりの取り組みを実践しています。
- 地域で健康を支え合い、健康づくりを進める社会環境が整っています。
- すべての市民が生涯を通じていきいきと幸せに過ごし、健康で長生きします。
- 家族や地域とのつながりの中、不安なく子育てができ、子どもが健やかに成長しています。

◆具体化した施策の取り組み実績

1 市民主体による健康づくりの推進

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
健康づくりいっしょにやろまい会活動	参加者2,416人	参加者2,064人	参加者2,500人
健康マイレージ	参加者64人	参加者83人	参加者100人
イベント(ひとねる祭・健康づくりのつどい)	来場者2,184人	来場者1,112人	来場者1,600人

2 生活習慣病・感染症予防の推進

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
がん検診	受診者20,119人	受診者22,130人	受診者24,000人
ヤングエイジ健診	受診者231人	受診者189人	受診者2501人
人間ドック	受診者2,715人	受診者2,754人	受診者2,800人
特定保健指導	指導実人数39人	指導実人数34人	指導実人数126人
宿泊型保健指導	-	指導実人数56人	指導実人数60人
健康大学糖尿病予防学部	修了者64人	修了者33人	修了者120人
学童期の健康スクール	参加者7組	参加者4組	参加者15組
成人用肺炎球菌ワクチン予防接種	接種者2,772人	接種者2,071人	接種者3,615人
麻疹風疹予防接種	接種者43人	接種者31人	接種者55人
高齢者インフルエンザ予防接種	接種者13,625人	接種者13,696人	接種者15,602人

3 母子保健の充実

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
妊婦・乳幼児健康診査	受診者11,880人	受診者8,714人	受診者10,280人
母子健康教室	参加者4,720人	参加者4,900人	参加者5,000人
こんにちは赤ちゃん訪問	訪問数567件	訪問数557件	訪問数546件
乳幼児等予防接種	接種者13,781人	接種者13,896人	接種者14,110人
子育て相談	相談者725人	相談者855人	相談者900人
不妊治療費助成	助成者52組	助成者48組	助成者50組
未熟児養育医療	助成者8人	助成者20人	助成者37人

4 食育の推進

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
食生活改善推進員活動	参加者903人	参加者1,263人	参加者1,500人
離乳食教室	参加者460組	参加者466組	参加者470組
依頼健康教室(管理栄養士)	参加者846人	参加者1,441人	参加者1,450人

5 こころの健康づくりの推進

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
母子心理個別相談	相談件数52件	相談件数53件	相談件数55件
成人健康相談(精神)	相談者67人	相談者53人	相談者70人

◆評価指標

指標名	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	将来目標
特定健診内臓脂肪症候群該当率	目標値			20%以下	18%以下
	実績値	21.9%	23.3%(概算値)		平成29年度
ヤングエイジ健診要指導者指導率	目標値			80%	90%以上
	実績値	67.8%	38.8%		平成35年度
特定保健指導実施後の改善率	目標値			80%	90%以上
	実績値	67.8%	69.0%		平成29年度
健康づくりを地域で推進する人数	目標値			130人	200人
	実績値	119人	119人		平成35年度
ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	目標値			79.0%	80%
	実績値	77.4%	78.5%		平成35年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
特定健診内臓脂肪症候群該当率	内臓脂肪症候群該当者数/国保特定健診受診者数×100
ヤングエイジ健診要指導者指導率	ヤングエイジ健診保健指導実施者数/ヤングエイジ健診要指導者数×100
特定保健指導実施後の改善率	特定保健指導実施者のうち体重・腹囲減少者/特定保健指導実施者×100
健康づくりを地域で推進する人数	健康づくり食生活改善推進員数+健康づくりいっしょにやろまい会会員数
ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3歳児健康診査受診時のアンケートでの母親の回答

◆指標の分析

生活習慣病の予防の指標として、特定健診の結果内臓脂肪症候群に該当した者の割合と、健診の結果で特定保健指導となった者に保健指導を行ったあとの健康状態の改善率、ヤングエイジ健診の結果、要指導と判定された者の事後指導を受ける割合をあげている。結果を見てみると、内臓脂肪症候群に該当した者の割合は27年度は増加したものの、特定保健指導を実施した者の改善率は69%と約7割が保健指導の効果がみられている。ヤングエイジ健診の指導率は、平成27年度は指導者のマンパワーの不足により減少したが、28年度からは保健指導を地区担当保健師に振り分けて実施する体制と、指導率の向上に努めていく。健診は実施後の適切な保健指導が重要と考える。また、健康を地域で支えるためには健康づくりを地域で推進する市民が増えることが必要であると考え、推進員の人数を指標としている。市で養成し継続支援をすることで、年々会員数も増加し、活動も活発になっている。母親が地域で安心して子育てができる指標として子どもとゆったり過ごす時間の有無をアンケートで聞き指標としたが約8割が時間があると答えている。

◆今後の方針

施策の課題	<p>蒲郡市の国保特定健康診査の結果やレセプトでは、糖尿病や高血圧のリスクの高い人が多いことから、生活習慣病の予防、特に糖尿病や高血圧の重症化予防対策が課題である。また、特定健診の受診率や特定保健指導の実施率が低い状況は、市民の健康意識が関係しており、どう意識を高めるかといった健康無関心層へのポピュレーションアプローチの取り組みを図ることが必要と考える。そして市民が自己の健康管理を自ら意識して行うこととともに、地域社会全体が健康づくりに取り組む姿勢や環境なることが必要である。また、乳幼児予防接種は、平成26年度からすべての予防接種を個別接種化した。予防接種の種類が増え過密な接種スケジュールとなっている。わかりやすく安心して予防接種が行えるよう、医療機関と連携して進めることが必要であり、さらに安心した子育ての推進のため、母子保健サービスの充実や地域づくり、子育て世代の包括支援センターの設置も検討課題である。</p>
-------	--

今後の施策展開	<p>「健康がまごおり21第2次計画」に掲げた具体的な数値目標の達成に向け、各種の保健事業を実施する。H28年度は、糖尿病重症化予防の取り組みを強化し、血糖コントロール塾や高血圧予防教室の新規開催、国の糖尿病性腎症予防プログラムを使った保健指導の実施、またこれまで保険年金課が中心で実施していた特定保健指導を健康推進課の保健師が地区で分担して指導をすることにより、保健指導率の向上と指導の効果を上げていく。</p> <p>結果の評価は、国保の特定健診データや、レセプトの状況を確認し、PDCAサイクルを意識して行う。国保以外の市民には職域と連携した健康づくりの取り組みを実施し、健康に無関心な人も自己の健康に意識できるよう、健康化政策全庁的推進プロジェクトと協働で健診受診勧奨を行い、健康マイレージの内容の見直しや協賛店の拡大、体重測定100日チャレンジの実施の促しを強化していく。子育て世代の包括支援センターについては、情報収集をし計画をしていく。</p>
---------	---

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	A: 現状のままでよい。
	コメント	「健康がまごおり21第2次計画」に掲げた数値目標達成に向け、健康づくりを進めます。生活習慣病予防を重点施策とし、職域と連携した健康づくり、健康無関心層への対策等の取り組みを全庁的に推進していく。

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	第四次総合計画の基本目標にある「笑顔で安心して暮らせるまちづくり」を実現するため、平成25年度から3ヵ年事業として”市民の健康づくり”に取り組んできた。平成27年度はその集大成の年にあたるが、具体化した各種施策の取り組み実績を見ると、数値に伸び悩みの状況が見えることから、テコ入れが必要である。とはいうものの、この3年間取り組んできた市民意識の高揚は随所に花開き、また行政と市民・関係団体等との連携も徐々に構築されつつある。生活習慣の改善と市民の健康づくり、健康寿命の延伸は長期計画をもって達成されるものであり、取り組みの継続とステップアップが重要である。これまでに実施してきた事業を一度見直し再構築を図ること、合わせて、健康無関心層へのアプローチによる底辺の拡大が今後の課題である。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費 (参考) (千円)	人工	総合評価	事業の 種別	市長 マニフェスト	実施 計画
1-1	健康推進課	189	母子の健康診査事業	70,811	11,042	2.00	B	ア	1-2	○
1-1	健康推進課	190	母子の健康教室事業	981	6,938	1.22	B	ア	1-2	○
1-1	健康推進課	191	母子の健康相談事業	607	9,375	1.58	B	ア	1-2	○
1-1	健康推進課	192	こんにちは赤ちゃん訪問事業	1,223	7,755	1.27	A	ア	1-2	○
1-1	健康推進課	193	母子の歯科健診事業	3,417	1,441	0.42	B	ア	1-2	○
1-1	健康推進課	194	一般不妊治療助成事業	1,441	2,092	0.31	B	オ	1-2	○
1-1	健康推進課	195	未熟児養育医療給付事業	5,692	2,821	0.45	B	ア	1-2	○
1-1	健康推進課	196	ひとねる祭開催事業	109	949	0.17	B	カ	1-2	○
1-1	健康推進課	197	保健対策推進事業(歯の健康週間)	700	1,705	0.36	B	オ	1-4	○
1-1	健康推進課	198	食生活改善推進事業	735	5,362	0.75	B	ア	1-4	○
1-1	健康推進課	199	健康がまごおり推進事業	31	5,009	0.74	A	ア	2-3	○
1-1	健康推進課	200	健康がまごおり21計画推進事業	228	5,411	0.82	A	ア	2-3	○
1-1	健康推進課	201	寄生虫、ぎょう虫検査事業	741	421	0.07	B	ア	1-2	○
1-1	健康推進課	203	蒲郡いきいき市民健康づくり事業	3,891	8,193	1.22	A	カ	2-3	○
1-1	健康推進課	204	宿泊型新保健指導試行事業費	2,660	6,938	1.06	A	カ	2-3	○
1-1	健康推進課	205	個別予防接種事業(乳幼児)	140,127	5,429	1.01	B	ア	1-2	○
1-1	健康推進課	206	個別予防接種事業(成人)	92,172	2,532	0.50	B	ア	1-4	○
1-1	健康推進課	207	成人の集団検診事業	2,670	916	0.15	B	ア	1-4	○
1-1	健康推進課	208	成人の個別健康診査とがん検診事業	206,314	5,322	1.00	B	ア	1-4	○
1-1	健康推進課	209	成人の健康相談事業	484	1,990	0.31	B	ア	1-4	○
1-1	健康推進課	210	成人の健康づくり教室事業	627	960	0.20	B	ア	1-4	○
1-1	健康推進課	211	成人の歯周病検診事業	8,100	1,145	0.22	B	ア	1-4	○
1-1	健康推進課	212	総合保健システム関連事業	1,375	1,773	0.28	B	カ	1-4	○
1-1	健康推進課	216	人間ドック管理運営事業	135,032	4,844	0.85	B	カ	1-4	○